

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2022年11月フォーラム(第350回)

- 収録日時：2022年11月21日(月) 15時30分～16時30分
※新型コロナウイルス感染拡大のため、会場参加は中止といたします。何卒ご了承願います。
- 開催形式：千里ライフサイエンスセンタービル6F 603-4号室にて講演収録後、後日期間限定で録画配信
- 配信対象：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
- 講師：大石 哲 先生(おおいし さとる)
神戸大学 都市安全研究センター 教授
- テーマ：「電波で豪雨災害の被害軽減」
- 講演要旨：

近年では豪雨発生時に気象レーダーの画像を見て降雨強度の推移を把握することが増えた。線状降水帯の形成過程の解明や予測における気象レーダーの役割も大きい。しかし、気象レーダーが定量的な降雨強度を算出できるようになってから、まだ20年も経っていない。精度向上の鍵は電子工学と雨粒の計測だった。そこで本講演では、雨滴の大きさの計測が小型レーダーの開発に役立ったことを紹介して、基礎研究の重要性を問う。その後、定量的な降雨強度の推定から河川水位の推定につなげて治水に役立てようという試みについて紹介する。

- 講師プロフィール：

学歴：京都大学工学部卒，京都大学大学院工学研究科修了

職歴：京都大学助手，山梨大学准教授，神戸大学教授，理化学研究所研究チームリーダー兼務

専門分野：防災学，気象学，水文学

主なる著書：Elpida Kolokytha, Satoru Oishi, Ramesh Teegavarapu: Sustainable Water Resources Planning and Management Under Climate Change, Springer, 2016.

北後明彦・大石哲・小川まり子：災害から一人ひとりを守る(地域づくりの基礎知識4)，神戸新聞総合出版センター，神戸新聞総合出版センター，2019.

主なる講演テーマ：気象レーダー関連

富岳を用いた減災のための都市のデジタルトランスフォーメーション

治水を中心とした河川整備の方法

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/無料

録画配信希望のお申込はご不要です。録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp (HP：<https://www.senri-life.or.jp/>)